

お寺からケアの可能性を開く

僧侶のためのグリーンケア連続講座 in 静岡

「死に直面した誰もが必要とするサポートにつながる社会の実現」に向けて活動を行ってきたリヴオンは、この度、想いをもった有志の僧侶と共に、名古屋、東京、北海道に続いて、静岡でも連続講座を開講することになりました。

お葬儀や日頃の法務の中で出会うご遺族に何ができるのか。もともと持っている日本仏教のグリーンケアの力、そして、改めて必要なスキルやあり方を学べる場です。そして具体的に動き出す実践の一步までをご一緒できればと願っております。過去の受講生の声から「『法務の現場に生きる』智慧やスキルが身につく」と好評を賜りました。みなさまのご参加お待ちしております。



■プレ講座

日時 2017年12月5日(火)13時00分～17時00分
場所 蓮福寺 〒436-0078 静岡県掛川市肴町6 東海道新幹線「掛川駅」から徒歩5分
受講料 3,000円(税別)
申込 ①お名前(ふりがな)②お電話番号 ③FAXまたはメールアドレス ④ご住所
⑤ご所属寺院・お立場、件名に「僧侶のための連続講座 プレ講座申込」と明記の上、下記宛先までメールまたはFaxでご連絡ください。
一般社団法人 リヴオン事務局 Mail info@live-on.me Fax 03-6806-7180

参加者には本講座の
受講料割引あり!

■日時 各回 12時30分～18時30分

第一講	1月22日(月)	グリーンケアの基礎	
第二講	2月6日(火 友引)	自分自身を知る時間	
第三講	2月21日(水)	「聴く力」を身につける	
第四講	3月5日(月)	お寺 × グリーンケア その1	☆ゲスト講師
第五講	3月29日(木 友引)	お寺 × グリーンケア その2	☆ゲスト講師
第六講	4月26日(木)	お寺で生み出すグリーンケア	
特別講	5月30日(水)夜	お寺からつながるグリーンケア	

修了プレゼンテーション&静岡におけるグリーンケアに関わる人や団体とつながる交流会を予定

■場所 プレ講座と同会場を予定 (臨時法務等による会場変更は都度参加者にご連絡します)

■ゲスト講師 ☆第四講 酒井 義一氏 (真宗大谷派 存明寺 住職)
☆第五講 窪田 充栄氏 (臨済宗妙心寺派 勝林寺 住職)
☆第五講 渡邊 元浄氏 (真宗大谷派 正蓮寺 住職)

■ファシリテーター 尾角 光美(一般社団法人 リヴオン代表理事)
水口 陽子(一般社団法人 リヴオン理事)

■定員 20名 (定員になり次第、受付を締め切らせていただきます)

■受講料 90,000円(税別) プレ講座ご参加の方は割引あり
※原則一括払いですが、分割払いのご相談にも応じます。経済的にしんどい方はご相談ください

主催



特別協力



一般社団法人

お寺の未来

共催 僧侶のためのグリーンケア連続講座in静岡 実行委員会

こんなみなさんに本講座をおすすめします！

- ✓ お寺を遺族のために開きたいけれど、具体的にどうしていいかわからないので学びたい
- ✓ 「グリーフケア」って耳にするけれど、まだよくわからない
- ✓ 日頃ご遺族と接しているけれど、力になれているのか、傷つけたりしていないか不安
- ✓ 自分自身と向き合う時間もなかなか持てていないので、これを機に自分自身のことも見つめたい
- ✓ 震災などの災害支援、社会問題ともなっている自殺に対して、何ができるか考えたい

ゲスト講師

【 第4講 真宗大谷派 存明寺(ぞんみょうじ)住職 酒井義一氏 】
2007年より定期的にご遺族が集まり語る ことのできる「グリーフケアのつどい」をのべ41回開催。他に青年のつどい・子育てサロン・こども食堂などの開催や、震災支援やハンセン病問題など幅広く活動をされている。第4講では「模擬グリーフケアのつどい」を行い、いかにお寺を死別の支えとして、生きた人のために開いていくのかを学ばせてもらう。



【 第5講 臨済宗妙心寺派 勝林寺(しょうりんじ)住職 窪田充栄氏 】
僧侶のためのグリーフケア連続講座東京、リヴオンファシリテーター養成講座第2期を修了後、自身の経験から障がい児とその家族が集まり、語りあうことや様々なイベントに参加出来る「くつろぎば」を主催。他にも通夜の中で行う遺族の分かちあいや、グリーフについての情報提供など数多くの実践事例を持つ。



【 第5講 真宗大谷派 正蓮寺(しょうれんじ)住職 渡邊元浄氏 】
21歳で父を亡くし、悲しみに向き合えなかった苦しみを種に、リヴオンの同連続講座を受講。死別を経験した有縁の方が安心して立ち上げられるよう、2016年よりグリーフケアのつどい伊豆を主宰。儀礼のチカラを信じ、枕経、通夜、七日参り、年忌等にグリーフケアの要素を多く取り入れている。講義で模擬枕経法要を実施。



講座のファシリテーターは私達がつとめます

尾角 光美(おかく てるみ) 一般社団法人リヴオン 代表理事

19歳で母を自殺により亡くす。自死遺族支援を始め、死別のケア、自殺予防について全国の自治体、学校、各仏教寺院、などから講演、研修、の講師として呼ばれること多数。2009年リヴオンを立ち上げ「死に直面した誰もが必要とするサポートにつながる社会」の実現を目指して活動している。石川県小松市のお寺で「グリーフサポート連続講座」を主催し2団体のお寺に遺族のケアの場を産み落とした。2011年には寺院とNPOの協働を表彰する浄土宗第5回「共生・地域文化大賞」にて「共生優秀賞」受賞。著書に『なくしたものとつながる生き方』(サンマーク出版)



水口 陽子(みずぐち ようこ) 一般社団法人リヴオン 理事

2012年に夫を交通事故により亡くす。翌年リヴオンと出会い、「いのちの学校」、「ファシリテーター養成講座第一期」を修了。現在、全国の自治体、学校、仏教教団における講演や研修の講師に呼ばれている。「いのちの学校」「ファシリテーター養成講座」、「僧侶のためのグリーフケア連続講座」も企画から運営まで携わる。『かぞくのじかん』(婦人之友社・2015年春号)に「夫が私たち親子にのこしてくれたもの」をテーマに執筆。



本講座を全回修了された方にはリヴオンより「修了証」を授与します。